

令和4事業年度

財 務 諸 表

第 12 期

自 令和4年4月 1日
至 令和5年3月31日

学校法人沖縄科学技術大学院大学学園

独立監査人の監査報告書

令和5年6月16日

学校法人沖縄科学技術大学院大学学園

理 事 会 御 中

EY新日本有限責任監査法人

沖 縄 事 務 所

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士

田島昇

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士

藤本庸介

監査意見

当監査法人は、沖縄科学技術大学院大学学園法（以下、「学園法」という。）第12条第2項の規定に基づく監査報告を行うため、平成23年11月1日付け内閣府通知第525号に基づき、学校法人沖縄科学技術大学院大学学園の令和4年度（令和4年4月1日から令和5年3月31日まで）の財務諸表、すなわち貸借対照表、損益計算書、キャッシュ・フロー計算書、利益の処分に関する書類、業務実施コスト計算書、重要な会計方針、その他の注記及び附属明細書について監査を行った。

当監査法人は、上記の財務諸表が、沖縄科学技術大学院大学学園の会計の基準（平成23年内閣府令第59号第6条）に準拠して、学校法人沖縄科学技術大学院大学学園の令和5年3月31日現在の財政状態並びに同日をもって終了する事業年度の運営状況、キャッシュ・フローの状況及び業務実施コストの状況を全ての重要な点において適正に表示しているものと認める。

監査意見の根拠

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して監査を行った。監査の基準における当監査法人の責任は、「財務諸表の監査における監査人の責任」に記載されている。当監査法人は、我が国における職業倫理に関する規定に従って、学校法人から独立しており、また、監査人としてのその他の倫理上の責任を果たしている。

当監査法人は、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

その他の記載内容

その他の記載内容は、監査した財務諸表を含む開示書類に含まれる情報のうち、財務諸表及びその監査報告書以外の情報である。

当監査法人は、その他の記載内容が存在しないと判断したため、その他の記載内容に対するいかなる作業も実施していない。

財務諸表に対する理事者及び監事の責任

理事者の責任は、沖縄科学技術大学院大学学園の会計の基準（平成23年内閣府令第59号第6条）に準拠して財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない財務諸表を作成し適正に表示するために理事者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

財務諸表を作成するに当たり、理事者は、継続法人の前提に基づき財務諸表を作成することが適切であるかどうかを評価し、継続法人に関する事項を記載する必要があると判断した場合には、当該事項を記載する。

監事の責任は、学校法人の財務報告プロセスの整備及び運用における理事の業務執行の状況を監視することにある。

財務諸表の監査における監査人の責任

監査人の責任は、監査人が実施した監査に基づいて、全体としての財務諸表に不正又は誤謬による重要な虚偽表示がないかどうかについて合理的な保証を得て、監査報告書において独立の立場から財務諸表に対する意見を表明することにある。虚偽表示は、不正又は誤謬により発生する可能性があり、個別に又は集計すると、財務諸表の利用者の意思決定に影響を与えると合理的に見込まれる場合に、重要性があると判断される。

監査人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に従って、監査の過程を通じて、職業的専門家としての判断を行い、職業的懐疑心を保持して以下を実施する。

- ・ 不正又は誤謬による重要な虚偽表示リスクを識別し、評価する。また、重要な虚偽表示リスクに対応した監査手続を立案し、実施する。監査手続の選択及び適用は監査人の判断による。さらに、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手する。
- ・ 財務諸表の監査の目的は、内部統制の有効性について意見表明するためのものではないが、監査人は、リスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な監査手続を立案するために、監査に関連する内部統制を検討する。
- ・ 理事者が採用した会計方針及びその適用方法の適切性、並びに理事者によって行われた会計上の見積りの合理性及び関連する注記事項の妥当性を評価する。
- ・ 理事者が継続法人を前提として財務諸表を作成することが適切であるかどうか、また、入手した監査証拠に基づき、継続法人の前提に重要な疑義を生じさせるような事象又は状況に関して重要な不確実性が認められるかどうか結論付ける。継続法人の前提に関する注記が付されている場合は、監査報告書において財務諸表の注記事項に注意を喚起すること、又は重要な不確実性に関する財務諸表の注記事項が適切でない場合は、財務諸表に対して除外事項付意見を表明することが求められている。監査人の結論は、監査報告書日までに入手した監査証拠に基づいているが、将来の事象や状況により、学校法人は継続法人として存続できなくなる可能性がある。
- ・ 財務諸表の表示及び注記事項が、沖縄科学技術大学院大学学園の会計の基準（平成23年内閣府令第59号第6条）に準拠しているかどうかとともに、関連する注記事項を含めた財務諸表の表示、構成及び内容、並びに財務諸表が基礎となる取引や会計事象を適正に表示しているかどうかを評価する。

監査人は、監事に対して、計画した監査の範囲とその実施時期、監査の実施過程で識別した内部統制の重要な不備を含む監査上の重要な発見事項、及び監査の基準で求められているその他の事項について報告を行う。

利害関係

学校法人と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

目 次

貸 借 対 照 表 ……	1
損 益 計 算 書 ……	2
キ ャ ッ シ ュ ・ フ ロ ー 計 算 書 ……	3
利 益 の 処 分 に 関 す る 書 類 ……	4
業 務 実 施 コ ス ト 計 算 書 ……	5
注 記 事 項 ……	6
附 属 明 細 書 ……	8
1 固定資産の取得及び処分並びに減価償却費(「第40特定の償却資産の減価に係る会計処理」による損益外減価償却相当額も含む。)の明細並びに減損損失の明細	
2 たな卸資産の明細	
3 有価証券の明細	
4 無償使用国有財産等の明細	
5 PFIの明細	
6 退職給付引当金の明細	
7 拠出金及び拠出剰余金の明細	
8 積立金の明細	
9 業務費及び一般管理費の明細	
10 運営費補助金等の明細	
11-1 施設整備費補助金の明細	
11-2 補助金等の明細	
12 役員及び教職員の給与の明細	
13 開示すべきセグメント情報	
14 寄附金の明細	
15 受託研究等の明細	
16 共同研究の明細	
17 主な資産、負債、費用及び収益の明細	
18 関連公益法人等に関する明細	

貸借対照表

(令和5年3月31日)

(単位:円)

資産の部

I 固定資産

1 有形固定資産

土地		1,659,667,000	
建物	72,257,944,588		
減価償却累計額	<u>-20,837,945,577</u>	51,419,999,011	
構築物	10,121,772,109		
減価償却累計額	<u>-3,060,859,672</u>	7,060,912,437	
機械及び装置	231,583,683		
減価償却累計額	<u>-217,740,830</u>	13,842,853	
工具、器具及び備品	29,761,188,877		
減価償却累計額	<u>-24,561,486,509</u>	5,199,702,368	
図書		11,750,836	
車両運搬具	25,813,443		
減価償却累計額	<u>-25,813,427</u>	16	
リース資産	1,240,287,996		
減価償却累計額	<u>-1,240,287,996</u>	0	
建設仮勘定		<u>932,999,887</u>	
有形固定資産合計		<u>66,298,874,408</u>	

2 無形固定資産

特許権		134,135,760	
商標権		241,297	
ソフトウェア		53,345,857	
工業所有権仮勘定		87,143,372	
その他無形固定資産		<u>17,756,761</u>	
無形固定資産合計		<u>292,623,047</u>	

3 投資その他の資産

長期性預金		100,000,000	
投資有価証券		5,000	
敷金保証金		775,000	
長期前払費用		3,211,885	
リース投資資産		<u>4,896,468,235</u>	
投資その他の資産合計		<u>5,000,460,120</u>	

71,591,957,575

II 流動資産

現金及び預金		4,590,930,114	
未収入金		1,050,328,324	
たな卸資産		45,938,778	
前払費用		104,837,547	
立替金		321,290	
リース投資資産		<u>160,458,276</u>	
流動資産合計		<u>5,952,814,329</u>	
資産合計			<u>77,544,771,904</u>

負債の部

I 固定負債

資産見返補助金等		11,997,219,473	
資産見返寄附金		126,894,068	
資産見返物品受贈額		2,973,220	
退職給付引当金		141,829,200	
長期未払金		4,922,149,193	
その他固定負債		<u>4,028,528,847</u>	
固定負債合計			21,219,594,001

II 流動負債

前受金		539,142,198	
預り補助金等			
預り運営費	438,355,472		
預り施設整備費	<u>418,891,603</u>	857,247,075	
預り寄附金		76,649,964	
預り科学研究費補助金等		169,617,585	
預り金		141,072,239	
未払金		2,129,882,698	
未払費用		84,123,109	
その他流動負債		<u>108,879,156</u>	
流動負債合計		<u>4,106,614,024</u>	
負債合計			<u>25,326,208,025</u>

純資産の部

I 拠出金

拠出金		<u>24,317,681,264</u>	
拠出金合計			24,317,681,264

II 拠出剰余金

拠出剰余金		44,762,935,982	
損益外減価償却累計額(-)		<u>-20,383,884,215</u>	
拠出剰余金合計			24,379,051,767

III 利益剰余金

任意積立金			
別途積立金		80,532,854	
当期末処分利益		<u>3,441,297,994</u>	
(うち当期総利益)	(<u>1,539,296,257</u>)	
利益剰余金合計		<u>3,521,830,848</u>	
純資産合計			<u>52,218,563,879</u>
負債純資産合計			<u>77,544,771,904</u>

損 益 計 算 書

(自 令和4年4月1日 至 令和5年3月31日)

(単位:円)

経常収益				
授業料収益		129,105,000		
運営費補助金等収益		16,116,095,690		
施設費収益		6,302,040		
受託研究等収入(国又は地方公共団体)		1,250,105,237		
受託研究等収入(国又は地方公共団体以外)		674,650,449		
共同研究収入		83,110,413		
寄附金収益		31,924,885		
補助金等収益		42,378,360		
宿舍料等収入		9,443,051		
土地建物賃貸料収入		15,017,314		
資産見返補助金等戻入		2,552,455,307		
資産見返寄附金戻入		56,000,260		
財務収益				
受取利息	103,485,807		103,485,807	
雑益			893,115,829	
経常収益合計			893,115,829	21,963,189,642
経常費用				
業務費				
人件費	7,110,034,776			
経費				
研究資材費	1,236,378,290			
備品費及び消耗品費	567,771,311			
水道光熱費	1,229,672,249			
旅費交通費	516,871,635			
通信運搬費	66,965,923			
賃借料	523,095,828			
業務委託費	787,129,645			
修繕費	452,391,623			
保守管理費	2,014,343,065			
図書費	231,876,326			
減価償却費	2,813,183,385			
その他の業務経費	179,117,724	10,618,797,004	17,728,831,780	
一般管理費				
人件費	1,461,091,289			
経費				
備品費及び消耗品費	64,558,863			
旅費交通費	145,601,205			
通信運搬費	64,629,454			
賃借料	43,302,538			
業務委託費	373,368,209			
役務費	70,617,993			
広告費	20,602,063			
減価償却費	60,539,274			
その他の管理経費	264,302,629	1,107,522,228	2,568,613,517	
財務費用				
支払利息	110,982,796			
為替差損	15,661,091	15,661,091	126,643,887	
経常費用合計			126,643,887	20,424,089,184
経常利益			893,115,829	1,539,100,458
臨時利益				
資産見返補助金等戻入		144		
資産見返寄附金戻入		2,731,345		
資産見返物品受贈額戻入		1		
固定資産売却益		195,790		
臨時利益合計		2,927,280		2,927,280
臨時損失				
固定資産除却損		2,731,481		
臨時損失合計		2,731,481		2,731,481
当期純利益			893,115,829	1,539,296,257
当期総利益			893,115,829	1,539,296,257

キャッシュ・フロー計算書

(自 令和4年4月1日 至 令和5年3月31日)

(単位:円)

I 業務活動によるキャッシュ・フロー	
授業料収入	129,150,000
運営費補助金等収入	17,938,138,287
受託研究等収入	2,635,609,376
寄附金収入	40,720,792
補助金等収入	53,331,006
宿舍料等収入	9,433,833
その他業務収入	362,831,708
預り科学研究費補助金等の受払	-1,184,422
人件費支出	-8,578,705,121
たな卸資産取得による支出	-5,375,439
その他業務支出	-9,190,441,722
業務活動によるキャッシュ・フロー	<u>3,393,508,298</u>
II 投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	-9,544,348,574
有形固定資産の売却による収入	245,790
無形固定資産の取得による支出	-65,547,736
施設整備補助金等による収入	6,774,454,442
その他	-208,666,999
小計	<u>-3,043,863,077</u>
利息及び配当金の受取額	4,119
投資活動によるキャッシュ・フロー	<u>-3,043,858,958</u>
III 財務活動によるキャッシュ・フロー	
ファイナンス・リース債務の返済による支出	-115,060
財務活動によるキャッシュ・フロー	<u>-115,060</u>
IV 資金に係る換算差額	-15,661,091
V 資金増加額	333,873,189
VI 資金期首残高	4,257,056,925
VII 資金期末残高	<u><u>4,590,930,114</u></u>

利益の処分に関する書類

(令和5年3月31日)

(単位:円)

I 当期末処分利益	
当期総利益	1,539,296,257
前期繰越利益	1,902,001,737
II 次期繰越利益	<u>3,441,297,994</u>

注) 令和5年5月21日～22日に開催された第39回理事会において、令和5年度に次期繰越利益のうち1億円を宿舎大規模修繕のための修繕積立金(別途積立金)として利益処分することを決議しております。

業 務 実 施 コ ス ト 計 算 書

(自 令和4年4月1日 至 令和5年3月31日)

(単位:円)

I 業務費用		
(1) 損益計算書上の費用		
業務費	17,728,831,780	
一般管理費	2,568,613,517	
財務費用	126,643,887	
臨時損失	2,731,481	20,426,820,665
(2) (控除) 自己収入等		
授業料収益	△ 129,105,000	
受託研究収入	△ 1,924,755,686	
共同研究収入	△ 83,110,413	
寄附金収益	△ 31,924,885	
宿舍料等収入	△ 9,443,051	
土地建物賃借料収入	△ 15,017,314	
資産見返寄附金戻入	△ 56,000,260	
財務収益	△ 103,485,807	
雑益	△ 828,675,114	△ 3,181,517,530
業務費用合計		17,245,303,135
II 損益外減価償却相当額		2,261,913,269
III 引当外退職給付増加見積額		3,792,700
IV 機会費用		
国又は地方公共団体の無償又は減額された使用料による 貸借取引の機会費用	158,582,476	
政府拠出等の機会費用	155,082,655	313,665,131
V 業務実施コスト		19,824,674,235

注記事項

I. 重要な会計方針

1. たな卸資産の評価基準及び評価方法
総平均法に基づく低価法
2. 固定資産の減価償却方法
 - (1)有形固定資産
定額法を採用しております。
なお、耐用年数については、法人税法に規定する方法と同一の基準によっております。
また、特定の償却資産(沖縄科学技術大学院大学学園会計基準 第40)の減価償却相当額については、損益外減価償却累計額として、抛出現金から控除して表示しております。
 - (2)無形固定資産
定額法を採用しております。
なお、法人内利用のソフトウェアについては、法人内における利用可能期間(5年)に基づいております。
3. 引当金の計上基準
 - (1)退職給付引当金
役員及び教職員の退職給付に備えるため、当該事業年度における期末要支給額を計上しております。
4. 業務実施コスト計算書における機会費用等の計上方法
 - (1)国又は地方公共団体の財産の無償又は減額された使用料による貸借取引の機会費用の計算
恩納村分屯基地・農地単価を基に計算しております。
 - (2)政府抛入金等に係る機会費用の計算に使用した利率
10年利付国債の令和5年3月末利回りを参考に0.32%で計算しております。
5. 外貨建資産及び負債の本邦通貨への換算基準
外貨建金銭債権債務は、期末日の直物為替相場により円貨に換算し、換算差額は損益として処理しております。
6. リース取引の処理方法
ファイナンス・リース取引については通常の売買取引に係る方法に準じた会計処理によっております。
ただし、ファイナンス・リース取引のうちリース料総額が300万円未満の所有権移転外ファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっております。
7. 収益及び費用の計上基準
 - (1)ファイナンス・リース取引(貸主側)に係る収益の計上基準
売上高を計上せず利息相当額を各期へ配分する方法によっております。
8. 消費税等の会計処理
消費税の会計処理は、税込方式によっております。

II. 追加情報

1. ビレッジゾーン宿舎の取引概要及び会計処理
当学園は、平成23年9月30日付けで、OKINAWA SCIENTISTS VILLAGE株式会社(以下、事業者)と宿舎整備事業に関する契約を締結致しました。
事業者は、当該契約に基づき、当学園の保有する敷地内に教職員及び学生のための宿舎を建設し、完工後当学園に宿舎を譲渡いたします。
宿舎の建設は、フェーズ1(第1期～第3-2期)に渡り、平成27年度においては第3-2期分が完成し、当学園に引き渡しが行われております。
フェーズ2として当学園は、令和元年6月11日付けで、OKINAWA SCIENTISTS VILLAGE II株式会社(以下、事業者)と宿舎整備事業に関する契約を締結し、令和2年度にヒルサイド及びサウスヒルA・B・Cの宿舎の完成及び引渡が行われております。
当学園は、宿舎の完成に際し、事業者より、長期割賦購入で譲り受けると同時に、事業者と定期建物賃貸借契約を締結し宿舎を賃貸しております。
宿舎の賃貸に係るリース料と宿舎の譲受に係る長期割賦購入額は同額となり、且つ支払スケジュール及び利息を含む各年度の支払額も同額で設定されているため、各年度の支払額は相殺されお互いの支払は発生しません。そして、定期建物賃貸借契約において、事業者は原則として中途解約が出来ない旨、及びリース期間満了後は宿舎を当学園に返還する旨を定めており、当学園は、事業者への賃貸取引について、所有権移転外ファイナンスリース(貸主側)による会計処理を実施しております。尚、所有権移転外ファイナンスリース(貸主側)による会計処理の実施に際しては、売上高を計上せず利息相当額を各期へ配分する方法によっており、譲り受けた宿舎をリース投資資産に計上しております。
当学園は、フェーズ3として令和元年3月29日付けで、OKINAWA SCIENTISTS VILLAGE III株式会社(以下、事業者)と宿舎整備事業に関する契約を締結し、令和3年度にThe Gardens宿舎の引渡が行われています。
当学園は、宿舎の完成に伴い、事業者より宿舎を譲り受けると同時に、当該宿舎に運営権を設定し事業者に譲渡しております。建物の取得対価と運営権の譲渡対価は同額であり、支払い額は相殺されお互いの支払いは発生しません。譲り受けた宿舎は建物に計上し、譲渡した運営権の対価はその他固定負債に計上しております。建物およびその他固定負債は、契約期間にわたり、減価償却費の計上、その他雑益への振替を行っております。

III.貸借対照表関係

1. 預り補助金等の内訳

(1) 預り運営費

学園取得の建設仮勘定見返運営費補助金等残高	351,212,100 円
学園取得の工業所有権仮勘定見返運営費補助金等残高	87,143,372 円
期末残高	438,355,472 円

(2) 預り施設整備費

学園取得の建設仮勘定見返施設費残高	418,891,603 円
期末残高	418,891,603 円

IV.キャッシュ・フロー計算書関係

(1) 資金の期末残高の貸借対照表科目別の内訳

現金及び預金	4,590,930,114 円
資金期末残高	4,590,930,114 円

(2) 重要な非資金取引の内容

当期新たに計上したファイナンス・リース(借手側)に係るリース資産の額	0 円
当期新たに計上したファイナンス・リース(借手側)に係るリース債務の額	0 円

V.業務実施コスト計算書関係

引当外退職給付増加見積額には、国等からの出向職員に係るものが、3,792,700円含まれております。

VI.ファイナンス・リース取引に関する注記

1. 借手側

(1) リース資産の内容

業務車両(OISTバス)

(2) リース資産の減価償却の方法

<所有権移転ファイナンス・リース取引に係るリース資産>
自己所有の固定資産に適用する減価償却方法と同一の方法を採用しております。
<所有権移転外ファイナンス・リース取引に係るリース資産>
リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法によっております。

2. 貸手側

(1) リース投資資産の内訳

①投資その他の資産

リース料債権部分	6,125,541,823 円
受取利息相当額	△ 1,229,073,588 円
リース投資資産	4,896,468,235 円

②流動資産

リース料債権部分	260,668,682 円
受取利息相当額	△ 100,210,406 円
リース投資資産	160,458,276 円

(2) リース投資資産に係るリース料債権部分の決算日後の回収予定額

①投資その他の資産

(単位:円)

	1年以内	1年超 2年以内	2年超 3年以内	3年超 4年以内	4年超 5年以内	5年超
リース料債権部分	-	260,890,329	261,117,145	261,349,249	261,586,776	5,080,598,324

②流動資産

(単位:円)

	1年以内	1年超 2年以内	2年超 3年以内	3年超 4年以内	4年超 5年以内	5年超
リース料債権部分	260,668,682	-	-	-	-	-

VII.重要な後発事象

該当事項はありません。

附属明細書

1. 固定資産の取得及び処分並びに減価償却費(「第40 特定の償却資産の減価に係る会計処理」による損益外減価償却相当額も含む。)の明細並びに減損損失の明細

(単位:千円)

資産の種類	期首残高	当期増加額	当期減少額	期末残高	減価償却累計額		減損損失累計額		差引 当期末残高	摘要	
					当期償却額		当期損益内	当期損益外			
有形固定資産 (償却費損益内)	建築物	14,283,601	458,135	-	14,741,736	3,440,672	620,506	-	-	-	11,301,063
	構築物	478,533	4,556	-	483,089	255,074	19,836	-	-	-	228,015
	機械装置	189,935	-	1,432	188,502	184,787	1,058	-	-	-	3,715
	工具器具備品	27,713,955	2,248,905	504,472	29,458,388	24,414,239	2,175,261	-	-	-	5,044,148
	図書	8,868	2,881	-	11,750	-	-	-	-	-	11,750
	車両運搬具	26,313	-	500	25,813	25,813	22	-	-	-	0
	リース資産	1,308,806	-	68,518	1,240,287	1,240,287	115	-	-	-	-
計	44,010,014	2,714,478	574,923	46,149,569	29,560,874	2,816,801	-	-	-	16,588,694	
有形固定資産 (償却費損益外)	建築物	46,607,855	10,908,352	-	57,516,208	17,397,273	1,942,820	-	-	-	40,118,935
	構築物	9,019,575	619,106	-	9,638,682	2,805,785	297,928	-	-	-	6,832,896
	機械装置	43,080	-	-	43,080	32,953	2,886	-	-	-	10,127
	工具器具備品	208,903	99,632	5,735	302,800	147,246	18,223	-	-	-	155,553
	計	55,879,415	11,627,091	5,735	67,500,771	20,383,259	2,261,858	-	-	-	47,117,512
非償却資産	土地	1,659,667	-	-	1,659,667	-	-	-	-	-	1,659,667
	建設仮勘定	9,876,143	3,632,884	12,576,028	932,999	-	-	-	-	-	932,999
	計	11,535,810	3,632,884	12,576,028	2,592,666	-	-	-	-	-	2,592,666
有形固定資産合計	土地	1,659,667	-	-	1,659,667	-	-	-	-	-	1,659,667
	建築物	60,891,456	11,366,487	-	72,257,944	20,837,945	2,563,326	-	-	-	51,419,999
	構築物	9,498,109	623,662	-	10,121,772	3,060,859	317,765	-	-	-	7,060,912
	機械装置	233,016	-	1,432	231,583	217,740	3,945	-	-	-	13,842
	工具器具備品	27,922,858	2,348,537	510,207	29,761,188	24,561,486	2,193,484	-	-	-	5,199,702
	図書	8,868	2,881	-	11,750	-	-	-	-	-	11,750
	車両運搬具	26,313	-	500	25,813	25,813	22	-	-	-	0
	リース資産	1,308,806	-	68,518	1,240,287	1,240,287	115	-	-	-	-
	建設仮勘定	9,876,143	3,632,884	12,576,028	932,999	-	-	-	-	-	932,999
計	111,425,240	17,974,455	13,156,687	116,243,008	49,944,134	5,078,659	-	-	-	66,298,874	
無形固定資産 (償却費損益内)	特許権	200,822	29,254	2,384	227,692	93,557	27,319	-	-	-	134,135
	商標権	1,451	-	-	1,451	1,210	107	-	-	-	241
	ソフトウェア	1,162,819	13,611	-	1,176,431	1,123,085	24,725	-	-	-	53,345
	その他無形固定資産	64,081	-	-	64,081	46,411	4,768	-	-	-	17,670
	計	1,429,175	42,866	2,384	1,469,657	1,264,263	56,921	-	-	-	205,393
無形固定資産 (償却費損益外)	その他無形固定資産	711	-	-	711	625	54	-	-	-	85
非償却資産	工業所有権仮勘定	84,385	44,058	41,300	87,143	-	-	-	-	-	87,143
	計	84,385	44,058	41,300	87,143	-	-	-	-	-	87,143
無形固定資産合計	特許権	200,822	29,254	2,384	227,692	93,557	27,319	-	-	-	134,135
	商標権	1,451	-	-	1,451	1,210	107	-	-	-	241
	ソフトウェア	1,162,819	13,611	-	1,176,431	1,123,085	24,725	-	-	-	53,345
	工業所有権仮勘定	84,385	44,058	41,300	87,143	-	-	-	-	-	87,143
	その他無形固定資産	64,792	-	-	64,792	47,036	4,823	-	-	-	17,756
	計	1,514,272	86,924	43,684	1,557,511	1,264,888	56,976	-	-	-	292,623
投資その他の資産	長期性預金	-	100,000	-	100,000	-	-	-	-	-	100,000
	投資有価証券	5	-	-	5	-	-	-	-	-	5
	敷金保証金	1,155	-	380	775	-	-	-	-	-	775
	長期前払費用	5,109	2,299	4,197	3,211	-	-	-	-	-	3,211
	リース投資資産	5,056,926	-	160,458	4,896,468	-	-	-	-	-	4,896,468
	計	5,063,196	102,299	165,035	5,000,460	-	-	-	-	-	5,000,460

注) 1. 建物の当期増加額の主な内容 第5研究棟関連 11,226,406千円、 第4研究棟高圧ケーブル敷設及び電力監視設備改修工事 83,490千円

2. 構築物の当期増加額の主な内容 第5研究棟関連 492,041千円

3. 工具器具備品の当期増加額の主な内容 Deigo システムストレージ拡張 99,660千円、Metis TOF microscope 247,500千円

4. 建設仮勘定の当期増加額の主な内容 Lab5関連支出 3,138,803千円、飼育ケージ洗浄システム 103,125千円、第4研究棟高圧ケーブル敷設 83,490千円、基幹環境整備 59,202千円、

2. たな卸資産の明細

(単位:千円)

種類	期首残高	当期増加額		当期減少額		期末残高	摘要
		当期購入・ 製造・振替	その他	払出・振替	その他		
研究資材	39,826	2,218	-	-	-	42,044	
その他	4,066	2,279	-	2,452	-	3,894	
計	43,892	4,497	-	2,452	-	45,938	

3. 有価証券の明細

投資その他の資産として計上された有価証券

(単位:千円)

		銘柄等	取得価額	券面総額	時価又は 実質価額	貸借対照表 計上額	損益に 含まれた 評価差額	その他 有価証券 評価差額	摘要
その他有価証券	時価のあるもの		-	-	-	-	-	-	
	時価のないもの	沖縄プロテイントモグラフィ 株式会社	-	-	-	5	-	-	新株予約権5,000株無償割当
合計			-	-	-	5	-	-	

4. 無償使用国有財産等の明細

区分	種別	所在地	面積 (㎡)	構造	機会費用の 金額(千円)	摘要
土地	メインキャンパス	沖縄県国頭郡恩納村字谷茶1919番地	631,113.60	-	156,706	
土地	瀬良垣臨海研究施設	沖縄県国頭郡恩納村字瀬良垣瀬良垣原656番地	7,511.50	-	1,876	
	合計		638,625.10	-	158,582	

5. PFIの明細

事業名	事業概要	施設所有形態	契約先	契約期間	摘要
沖縄科学技術大学院大学 宿舎整備事業	宿舎整備(建設)・維持 管理及び運営	BTO	OKINAWA SCIENTISTS VILLAGE 株式会社	平成23年9月30日 ～ 令和27年3月31日	第1期:平成24年8月～平成25年1月の間に順次引渡 第2期:平成25年6月引渡 第3-1期:平成26年8月引渡 第3-2期:平成27年8月及び10月引渡
沖縄科学技術大学院大学 宿舎第2期整備運営事業	宿舎整備(建設)・維持 管理及び運営	BTO	OKINAWA SCIENTISTS VILLAGE II 株式会社	令和元年6月11日 ～ 令和42年3月31日	ヒルサイド: 令和2年7月引渡 サウスヒルA: 令和2年7月引渡 サウスヒルB: 令和2年9月引渡 サウスヒルC: 令和2年9月引渡
沖縄科学技術大学院大学 宿舎第3期整備運営事業	宿舎整備(建設)・維持 管理及び運営	BTO	OKINAWA SCIENTISTS VILLAGE III 株式会社	令和元年3月29日 ～ 令和43年3月31日	The Gardens: 令和3年8月引渡

6. 退職給付引当金の明細

(単位:千円)

区分	期首残高	当期増加額	当期減少額	期末残高	摘要
退職給付債務合計額	163,231	19,707	41,109	141,829	
退職一時金に係る債務	163,231	19,707	41,109	141,829	
未認識過去勤務債務	-	-	-	-	
未認識数理計算上の差異	-	-	-	-	
年金資産	-	-	-	-	
退職給付引当金	163,231	19,707	41,109	141,829	

7. 拠出金及び拠出剰余金の明細

(単位:千円)

区分		期首残高	当期増加額	当期減少額	期末残高	摘要
拠出金	政府拠出金	24,317,681	-	-	24,317,681	
	計	24,317,681	-	-	24,317,681	
拠出剰余金	拠出剰余金					
	施設費	33,141,579	11,627,091	5,735	44,762,935	注1)
	計	33,141,579	11,627,091	5,735	44,762,935	
	損益外減価償却累計額	18,127,706	2,261,913	5,735	20,383,884	
	差引計	15,013,873	9,365,178	-	24,379,051	

注1) 施設費の当期増加額は、第5研究棟 11,500,025千円等によるものであります。

8. 積立金の明細

(単位:千円)

区分	期首残高	当期増加額	当期減少額	期末残高	摘要
別途積立金	58,867	-	-	58,867	前法人において独立行政法人会計基準上貸借対照表に計上しない扱いとなっていた退職給付引当金について、学園第1期の貸借対照表期首に要積立額を負債として計上し、当該引当額を学園第1期の学園補助金で措置することにより、要積立額分を収益化したことによるもの。
別途積立金	21,665	-	-	21,665	前法人において独立行政法人会計基準上貸借対照表に計上しない扱いとなっていた賞与引当金について、学園第1期の貸借対照表期首に要積立額を負債として計上し、当該引当額を学園第1期の学園補助金で措置することにより、要積立額分を収益化したことによるもの。
計	80,532	-	-	80,532	

9. 業務費及び一般管理費の明細

(単位:千円)

科目	金額	摘要
業務費		
基本給	5,937,626	
諸手当	315,079	
通勤手当	54,353	
超過勤務手当	43,922	
その他給与	49,768	
退職給付費用	7,537	
法定福利費	701,747	
研究資材費	1,236,378	
備品費	312,383	
消耗品費	255,388	
水道光熱費	1,229,672	
国内旅費	85,129	
外国旅費	242,377	
国内招聘旅費	65,107	
外国招聘旅費	104,381	
国内その他旅費	6,445	
外国その他旅費	13,430	
通信運搬費	66,965	
支払リース料	55,336	
土地建物賃借料	439,216	
その他賃借料	28,542	
行事費	11,708	
支払手数料	4,311	
諸会費	32,585	
会議費	5,756	
研修費	13,909	
報酬	264	
諸謝金	23,108	
業務委託費	787,129	
修繕費	452,391	
保守管理費	2,014,343	
損害保険料	27,690	
広告費	8,552	
建物減価償却費	616,135	
構築物減価償却費	19,836	
機械装置減価償却費	1,058	
工具器具備品減価償却費	2,150,592	
車両運搬具減価償却費	22	
無形固定資産減価償却費	25,421	
リース資産減価償却費	115	
図書費	231,876	
租税公課	4,205	
輸入消費税	5,701	
その他の経費	41,324	
計	17,728,831	
一般管理費		
役員報酬	111,550	
役員通勤手当	172	
基本給	1,069,034	
諸手当	58,040	
通勤手当	20,920	
超過勤務手当	26,004	
その他給与	3,013	
退職給付費用	12,170	
法定福利費	160,184	
研究資材費	5,716	
備品費	2,037	
消耗品費	62,521	
水道光熱費	69,019	
国内旅費	35,695	
外国旅費	20,050	
国内招聘旅費	10,968	
外国招聘旅費	23,754	
国内その他旅費	20,201	
外国その他旅費	34,930	
通信運搬費	64,629	
支払リース料	2,622	
土地建物賃借料	31,682	
その他賃借料	8,997	
福利厚生費	18,711	
行事費	4,936	
支払手数料	33,256	
諸会費	6,895	
会議費	3,744	
研修費	8,386	
報酬	46,224	
諸謝金	24,393	
業務委託費	373,368	
修繕費	3,505	
保守管理費	20,511	
損害保険料	30,534	
広告費	20,602	
特許経費	19,084	
貸倒引当金繰入額	3,113	
建物減価償却費	4,370	
工具器具備品減価償却費	24,669	
無形固定資産減価償却費	31,499	
図書費	2,357	
租税公課	29,116	
輸入消費税	357	
その他の経費	5,056	
計	2,568,613	

10. 運営費補助金等の明細

(単位:千円)

区分	当期交付額	当期振替額				摘要
		建設仮勘定見返補助金等	工業所有権仮勘定見返補助金等	資産見返補助金等	収益計上	
沖縄科学技術大学院大学 学園補助金	17,897,520	48,822	35,192	1,707,143	16,106,363	
合計	17,897,520	48,822	35,192	1,707,143	16,106,363	

注) 損益計算書の運営費補助金等収益には過年度取得仮勘定からその他の経費へ振替えた9,732千円が含まれております。

11-1. 施設整備費補助金の明細

(単位:千円)

区分	当期交付額	左の会計処理内訳				摘要
		建設仮勘定 見返施設費	抛出剰余金	預り施設費	その他	
平成31年2月26日付 府沖振第37号 第5研究棟整備	1,790,848	-	1,790,848	-	-	
令和3年2月17日付 府沖振第34号 第5研究棟附帯設備整備	1,607,354	-	1,607,354	-	-	
令和4年4月1日付 府沖振第67号 基幹環境整備	142,328	-	137,091	-	5,237	
令和4年12月14日付 府沖振275号 インキュベータ施設整備	9,570	9,570	-	-	-	
令和4年12月14日付 府沖振第276号 第2データセンター施設整備	22,704	22,704	-	-	-	
計	3,572,804	32,274	3,535,293	-	5,237	

11-2. 補助金等の明細

(単位:千円)

区分	当期交付額	左の会計処理内訳				摘要
		資産見返 補助金等	長期預り 補助金等	収益計上	その他	
沖縄科学技術大学院大学 SDGs 社会課題解決型起業促進 事業補助金	21,445	-	-	21,445	-	
新型コロナウイルス ワクチン職域接種促進事業補助金	1,816	-	-	1,816	-	
国立研究開発法人 日本医療研究開発機構 医療研究開発推進事業費補助金	27,500	-	-	19,116	8,383	その他は返還予定額
新型コロナウイルス感染症患者等 入院医療機関等設備整備事業補助金	39,859	39,859	-	-	-	
計	90,620	39,859	-	42,378	8,383	

12. 役員及び教職員の給与の明細

(単位:千円)

区 分	報酬又は給与		退職給付	
	支給額	支給人員(人)	支給額	支給人員(人)
役 員	(6,800) 104,922	(2) 3	(-) 523	(-) 1
教 職 員	(54,833) 7,522,929	(36) 1,169	(-) 40,586	(-) 3
合 計	(61,633) 7,627,852	(38) 1,172	(-) 41,109	(-) 4

注) 1. 役員(含む非常勤役員)報酬及び退職手当の支給基準の概要

沖縄科学技術大学院大学学園「基本方針・ルール・手続き」第34章 給与・報酬 及び 第35章 ベネフィット 等に基づき支給しております。

2. 教職員給与及び退職手当の支給基準の概要

沖縄科学技術大学院大学学園「基本方針・ルール・手続き」第34章 給与・報酬 及び 第35章 ベネフィット 等に基づき支給しております。

3. 報酬又は給与における支給人員数は、年間平均支給人員を記載しております。

4. 損益計算書の人件費の中には、上記給与の他に法定福利費861,932千円が含まれております。

5. ()は、非常勤の役職員に対するもので、外数であります。

6. 上記の支給額には、賞与引当金及び退職給付引当金に係る繰入額は含まれておりません。

13. 開示すべきセグメント情報

(単位:千円)

区分	研究ユニット	研究サービス	教育関連	計	全学園	合計
業務収益						
授業料収益	-	-	129,105	129,105	-	129,105
運営費補助金等収益	7,018,468	4,962,948	1,601,144	13,582,561	2,533,534	16,116,095
施設費収益	-	-	-	-	6,302	6,302
受託研究費等収入	545,312	1,332,431	2,178	1,879,922	127,943	2,007,866
寄附金収益	16,594	6,232	3,777	26,605	5,319	31,924
補助金等収益	-	20,932	-	20,932	21,445	42,378
資産見返補助金等戻入	1,078,555	1,410,638	1,824	2,491,018	61,437	2,552,455
資産見返寄附金戻入	48,926	5,542	-	54,469	1,531	56,000
その他収入	10,947	167,966	976	179,890	737,685	917,576
財務収益	-	103,481	-	103,481	4	103,485
小計	8,718,804	8,010,175	1,739,005	18,467,986	3,495,203	21,963,189
業務費用	8,559,343	7,134,724	1,736,191	17,430,260	2,993,828	20,424,089
業務損益	159,460	875,450	2,814	1,037,725	501,374	1,539,100
資産	3,034,765	68,616,680	16,556	71,668,002	5,876,768	77,544,771

(セグメント情報の注記事項)

(1) セグメントの区分方法及び各業務の内容

各業務の内容

研究ユニット	神経科学、分子科学、数学・計算科学の研究開発の推進、研究者養成活動等
研究サービス	研究ユニットの支援業務、研究成果の普及等
教育関連	学生の受入・教育に係る業務等

(2) 業務費用のうち、全学園の項目に含めた配賦不能費用は、主に管理部門に係る下記費用であります。

人件費	1,461,091	千円
その他経費	599,677	千円
業務委託費	373,368	千円

(3) 資産のうち、全学園の項目に含めた資産は、主に下記の通りであります。

現金及び預金	4,590,930	千円
未収入金	973,217	千円

(4) 損益外減価償却相当額及び引当外退職給付増加見積額のセグメント別金額は下記の通りであります。

(単位:千円)

	研究ユニット	研究サービス	教育関連	計	全学園	合計
損益外減価償却相当額	-	2,261,913	-	2,261,913	-	2,261,913
引当外退職給付増加見積額	-	-	-	-	3,792	3,792

14. 寄附金の明細

区分	当期受入(千円)	件数(件)	摘要
研究ユニット	11,949	116	現物寄附 115件:9,949千円
研究サービス	8,755	26	現物寄附 19件: 627千円
教育関連	1,399	22	現物寄附 21件: 399千円
全学園	17,880	659	現物寄附 600件: 2,203千円
合計	39,984	823	

15. 受託研究等の明細

(単位:千円)

区分	期首残高	当期受入額	受託研究等収益	期末残高
研究ユニット	67,471	801,846	462,370	406,947
研究サービス	100	1,335,189	1,332,263	3,026
教育関連	5,417	-3,239	2,178	-
全学園	15	129,326	127,943	1,398
合計	73,003	2,263,124	1,924,755	411,372

注)教育関連の当期受入額は、期首残高の一部を外部に移管したためマイナスになっています。

16. 共同研究の明細

(単位:千円)

区分	期首残高	当期受入額	受託研究等収益	期末残高
研究ユニット	35,108	165,909	82,941	118,076
研究サービス	-	1,560	168	1,391
合計	35,108	167,469	83,110	119,467

17. 主な資産、負債、費用及び収益の明細

(1) 現金及び預金の明細

(単位:千円)

内訳	金額
現金	239
普通預金	4,590,690
現金及び預金計	4,590,930
長期性預金	100,000

注) 1. 長期性預金は、宿舎大規模修繕のための修繕積立資金です。

(2) 科学研究費補助金等の明細

(単位:千円)

種目	当期受入額	件数	摘要
基盤研究(A)	(26,480) 7,644	(6) 6	
基盤研究(B)	(69,350) 16,890	(22) 22	
基盤研究(C)	(37,676) 10,702	(40) 39	
挑戦的研究(萌芽)	(9,519) 2,855	(7) 7	
挑戦的研究(開拓)	(6,600) 1,980	(1) 1	
若手研究	(52,131) 15,600	(38) 37	
特別研究員奨励費	(31,282) 2,280	(36) 5	
特別推進研究	(8,000) 2,400	(1) 1	
国際共同研究加速基金 (帰国発展)	(16,700) 5,010	(1) 1	
国際共同研究強化(A)	(11,700) 3,510	(1) 1	
国際共同研究強化(B)	(1,300) 390	(1) 1	
研究活動スタート支援	(8,900) 2,670	(8) 8	
新学術領域研究(研究領域提案型)	(4,737) 798	(4) 2	
学術変革領域研究(A)	(29,390) 8,817	(8) 8	
日本学術振興会調査研究費	(2,050) -	(6) -	
厚生労働科学研究費補助金	(5,292) 1,587	(1) 1	
笹川科学研究助成金	(1,150) -	(2) -	
武田科学振興財団生命科学助成金	(7,700) 2,300	(1) 1	
内藤記念女性研究者研究助成金	(3,807) -	(2) -	
住友財団基礎科学研究助成	(2,100) -	(2) -	
岩谷直治記念財団助成金	(4,000) -	(2) -	
平和中島財団国際学術研究助成	(4,630) -	(1) -	
井上科学振興財団国際研究集会助成	(1,000) -	(1) -	
私学振興事業団学術研究振興資金	(2,100) -	(1) -	
英国生態学会助成金	(2,362) -	(1) -	
在日フランス大使館助成金	(500) -	(1) -	
合計	(350,459) 85,435	(195) 141	

注) 1. 当期受入額は、科学研究費補助金等の間接経費相当額を記載しております。また()は、直接経費相当額で外数にて記載しております。

注) 2. 科学研究費補助金等の研究課題
基盤研究(A)

- ハイブリッド量子系における非線形現象
- 意識変容の現象学 — 哲学・数学・神経科学・ロボティクスによる学際的アプローチ
- 身体モジュレーションと神経モジュレーションによる心身機能の改善
- サンゴ礁で繁栄する褐虫藻共生システムの体系的理解: 学際的研究体制によるアプローチ
- 超速1分子超解像法による、シグナル経路統合を担う液状ナノ共通シグナル基盤の解明
- 分散性のある大規模量子コンピュータアーキテクチャ

基盤研究(B)

- 超対称ランダム行列理論とボロジノ不変量の研究
- 海洋環境下のサンゴ-褐虫藻共生系のゲノム基盤の解明
- 白化に強いコビエダハマサンゴ群落は頑健か? 脆弱か? - 生物学と地質学からの検証-
- 細胞膜損傷を引き起こす細胞老化の分子基盤と生体内における意義の解明
- 脳の特徴に基づいたテラーメイド・ブレイン・マシン・インターフェイス
- 皮膚における光景表現の形成 - 面・物体・光景をつなぐ階層的な中間表現
- Time-resolved ARPES of excitons in 2D semiconductors
- 単細胞生物の複雑性: 有孔虫サブシングルセル遺伝子発現と超微細構造解析で迫る
- 光誘起電荷分離効率化による高効率有機蓄光システムの実現
- 分裂期紡錘体の形成・配置制御を司るダイニン複合体/クラスターの機能構造の解明
- 「心が変われば行動が変わる」確信がもたらす辛抱強さの神経機構
- Elucidation of the mutation rate as driver of insect endosymbiont genome evolution
- 記憶エンングラムによる動的情報表現の意義、一般性およびメカニズム
- 異常細胞のMHC-Iシグナルにより惹起される上皮細胞の免疫細胞様機能
- Transcriptional and epigenetic programs of phenotypic plasticity to heatwave in reef fish
- 哺乳類心筋細胞のT管膜構造の維持機構の解明と進化的意義の探求
- 自動行動トラッキングシステムを用いたアリ社会の繁殖分業制御機構の解明
- Thyroid hormones and Pigmentation pattern evolution in clownfish
- 寄主シロアリとの共進化に伴う好白蟻性ハネカクシの多様化
- 前頭眼窩野と内側前頭野の機能差におけるセロトニンを軸とした神経機構の解明
- 造礁サンゴ-褐虫藻共生の生物学的メカニズムのin vitro共生系を駆使した解明
- Adaptation of marine zooplankton to climate change conditions: a multi-omic study of molecular mechanisms

基盤研究(C)

- 粘性解理論に基づくサブリーマン多様体上の非線形偏微分方程式の研究
- クライオ電子顕微鏡によるアクセサリーピリンを含む歯周病原細菌線毛の全貌解明
- 習慣を中核にすえた新たな心の哲学と心の科学の展開
- 着尺用材料の作出に向けた芭蕉布繊維の解像
- 量子回路のモジュール化と量子制御の数学的および実験的研究
- グラフェン支持膜を用いた真空下での電子顕微鏡試料作製法に関する基盤技術の開発
- サンゴ共生渦鞭毛藻の代謝産物利用の技術開発に基づいた共生機構の解明
- 先端キャッチタンパク質に依存する細菌べん毛フック重合機構の解明
- The Effect of Active Zone Protein Dynamics on Synaptic Vesicle Release Probability
- ペプチド作動性神経系に共通する分子シグネチャーに基づく祖先的神経細胞の再構築
- 細胞性粘菌多細胞体の再生過程における位置情報再構成機構の解析
- Axonal local translation and its implications in the pathogenesis of amyotrophic lateral sclerosis
- Development of fast-forming 3D cultures of human neurons for modeling Alzheimers disease amyloid and Tau pathology
- The Mechanism of Endoplasmic Reticulum Proteostasis and Proteotoxicity in Retinal Degeneration
- Novel label-free tool for infections diagnosis based on Nano-Electro Optical Tweezers
- 内臓の認識論的地位の解明—現代哲学と神経科学による学際的アプローチ
- 高磁場に特化した量子スピンドルバーによるネマティック状態の基礎物性の解明
- Elucidating the effect of boundary curvature on the wrinkling of thin suspended films by theory and experiment
- 3D microfluidics for extensional rheometry
- 回遊バタンの進化の過程を探索: 初期生活史と内分泌系からのアプローチ
- Unraveling taxonomic diversity and evolutionary dynamics of a remarkable ant radiation (Hymenoptera: Formicidae: Terataner) in Madagascar based on next-generation-sequencing and x-ray microtomography
- In vivo imaging of endocannabinoid-regulated neuronal network activity coupled with 3D movement analysis in freely behaving mice
- ATP-dependent liquid phase separation during aging and neurodegeneration
- Synaptic vesicle transport revealed by electrophysiological and imaging studies
- 薬剤誘導性統合失調症モデル霊長類コモン・マーモセットの作出と病態解析
- Development of a patient-personalized synapse proteomics technology for advancing precision diagnosis of mental disorders
- Drp1を介した小胞体・ミトコンドリアの接触場の形成機構とアポトーシス誘導の役割
- ADHDベアレントレーニングと教師ビデオ教材の普及に向けた橋渡しパイロット研究
- Translational research: Incorporating experimental evidence on altered reward and punishment sensitivity into behavior management strategies for ADHD
- 距離空間における非線形偏微分方程式の研究
- Colloidal-rods for examining polymer dynamics in complex flows
- 標的タンパク質の分解を誘導する二重特異性RNAアプタマーの開発
- 真珠形成における遺伝子発現調節機構を1細胞レベルで解明する
- Wnt/PCPシグナル経路を制御するマウス初期胚形態形成の分子機構の解析
- 脊椎動物はいつキチンを失い、粘液層定着型の腸内細菌との共生関係を成立させたか?
- High-resolution spatiotemporal analysis of harmaline-induced tremor and inferior olive activity in living mice
- Elucidating the mechanisms underlying state dependent sensory processing
- 膝β細胞の恒常性維持に必要なm6A修飾を介したmRNA分解制御の解析
- 水晶体線維細胞分化を誘導するFGFリガンドの探索
- Mathematical Modeling of Human Neurophysiological Responses as Feedbacks for Generating Naturalistic Robot Behaviour

挑戦的研究(萌芽)

- 深層学習を用いたオルガネラ構造の超高効率解析法の開発
- 先端分光計測と精密合成を活用したグラフェン/ナリボンの微細構造と機能の制御
- 琉球古布の正確で非侵襲な素材判定法の開発
- 世界初の海藻類交雑育種株作成への挑戦: オキナワモスクをモデルとして
- 超速超高度・偏光消滅顕微鏡の開発によるアクチン膜骨格動態と神経膜拡散障壁の解明
- サイバー情報のリアリティ欠如がもたらす認知的作用の解明に向けた学際的研究
- 冬眠中の心筋細胞のT管膜維持機構の解明による革新的心不予防法の創出
- Next generation XUV source for time-resolved nano-ARPES and PEEM

挑戦的研究(開拓)

若手研究

- デイラック電子をもつプロブスカイ酸化物へテロ接合によるトポロジカル超伝導の実現
- 光/熱誘起スピンドロスオーバー—錯体の軟X線平衡/非平衡ダイナミクス観測手法の開発
- 高水温耐性のあるサンゴ群体がどのように生まれるのか?
- A Comprehensive Theoretical Survey on Functionalities and Properties of Adult Neurogenesis under the Influence of Slow Oscillations
- Detection of quantum states of single electrons on liquid helium
- 翻訳速度変化を介した新生タンパク質の折畳み機構の解明とその応用
- プロトン流入を利用した細胞膜損傷応答
- PKAイメージングによるマウス体性感覚野皮質深部のカテコールアミン神経修飾の解明

	<ul style="list-style-type: none"> - 細菌の表面粗さが制御する海洋ナノサイズ粒子付着機構の解明 - Biomonitoring of Red Soil Pollution by DNA-based methods in Okinawa - Exploring the effect of correlations on quantum speed limits in interacting cold atom systems - Micro-tomographic measurements of elastic turbulence - Generation of broadband high-field terahertz radiation using two-colour microplasma - 超高速3D超解像イメージング同時1分子追跡による神経シナプス分子集積機構の解明 - The evolutionary transition from minimal cells to organelles - 細胞内共生細菌における突然変異率の進化動態とその駆動要因の解明 - Protein import into endosymbionts becoming organelles - 昆虫の接触による群れ行動アルゴリズムの解明 - アトラクターネットワークによる言語処理の神経メカニズムのモデル化 - Interaction-based markers of mental illnesses based on sensorimotor interaction patterns: towards the development of early, non-invasive, and specific measures of the risk for mental illness - Quasiconformal and Sobolev mappings on metric measure spaces - Dispersive readout of the electrons on Helium Rydberg state with the Landau levels - Rydberg atoms interfaced with an optical nanofiber - Numerical Study of Quantum Spin-Nematic Order in Frustrated Ferromagnets and its Relation to Quantum Spin Liquids - Interaction of non-Newtonian fluids with deformable structures in microscale biological processes - Microbubble resonator dispersion engineering for blue-band soliton comb generation - Colloidal-rods for examining polymer dynamics in complex flows - 新規ウイルスベクターによる細胞分化誘導およびリプログラミング誘導の制御と特性解析 - Enhancing the Site-directed RNA Editing Toolkit with Cryo-EM Structures of Native RNA Editing Complexes - De Novo Directed Evolution Approach to Study Complex Kinase Signaling - Study of enzymes inside liquid-liquid phase separated crowded droplets - Adaptive RNA editing in Cephalopods - The effects of leaf litter phytochemistry on the structure and functioning of microbial decomposer communities. - The correlation and contribution of spatiotemporal firing pattern of inferior olive neurons to the cyclical movement - Investigating Functions of Parallel Connections in the Zebra Finch Auditory Cortex for Memory Processing During Song Learning - 疲弊化CD8 + T細胞における転写因子JunBの役割の解明 - Neural mechanisms underlying behavioral flexibility - Is active perception better than passive perception? Examining the role of action in perception through a systematic literature review and comprehensive behavioral experiments - 祖先型ニューレキシンの構造・機能解析 - 在来と外来の沖縄アリ群集における時間変動のパターンとその原因 - 種間比較と構成的手法によるシロアリの構造物形成の進化プロセス解明 - プルキンエ細胞の樹状突起における連合学習の時空間的符号化 - マウスの尻尾を用いたバランス機能の解明 - SCN2A自閉症に関する膜電位イメージングによる細胞体樹状突起シグナリングの解析 - 天然VS培養: ストレス下におけるサンゴマイクロバイオームの機能的反応の解明 - 新規な触媒能を示すリボザイムの進化学 - サンゴの非光合成共生生物における光合成系遺伝子の機能的役割 - コウイカの擬態の謎に取り組むための新しいアプローチ - アストロサイトにおけるカルシウムシグナルの伝播を調節する幾何学的要因は何か? - 混合カチオン-アニオン金属ハロゲン化物ペロブスカイト材料の分解メカニズムの研究 - 移動性分子による経世代的エピジェネティック伝達の制御機構の解明 - 透過電子顕微鏡構造解析を鍵とするグラフエナノリボンの面修飾反応の開発とその応用 - 組織透明化と三次元イメージングによるコウイカの全脳アトラスの作成 - 機械学習による大規模核酸配列データ解析を利用したリボザイム活性の最適化 - シロアリにおけるゲノム構造と化学受容体遺伝子族の進化 - 分子間相互作用の超高感度測定のための新しいマイクロ流体プラットフォーム - 降伏応力粘弾性流体の高精度高速プリンティング手法の開発 - 相互作用する系の量子熱力学 - 2電子原子のリドベルグ状態による量子計算の実現 - アリ脚の進化と機能形態に関する研究 - キンカチョウメスの歌弁別行動における発達聴覚経験の影響 - トラップ・ジョー・アントのトラップ型類がもつ超高速ラッチ機能の生体構造力学 - 近赤外線光を志向した液体ナノグラフエンの合成 - 植物化学、草食動物免疫、捕食者行動に対する微生物多様性のカスケード効果 - クマノミの色素形成の可塑性の基盤 - 多環芳香族炭化水素の超分子化学: 自己組織化構造の解明と制御 - サンゴ礁魚類群集の共生と競争を制御する色彩パターンの解明 - 母体免疫活性化による子供の小脳発達と機能の障害の解析 - 敵か味方か? ゼブラフィッシュを用いた視細胞変性疾患におけるミクログリアの機能解析 - 頂皮質と視床の回路の多感覚葛藤下での計算機能 - メタマテリアルピンセットによる量子ドット操作と光子放出制御 - 気候変動による海産魚類の適応能力を見極めるため、未来の海を模した海洋環境を探る - 気候変動による熱波が珊瑚礁の魚に及ぼす影響の解明 - 小胞体-ミトコンドリア連携を起点としたカルシウム流入に対する細胞応答の理解 - アイドリング状態の脳における情報処理メカニズム - らせん構造を有するナノグラフエনおよびグラフエナノソレノイドの合成と物性評価 - 動物のセルロース合成を可能にしたCesAタンパクの構造解析による結晶化機構の解明 - 先端分光計測と精密合成を活用したグラフエナノリボンの微細構造と機能の制御 - 対面会話とビデオ通話における行動と脳波の同期観察 - Quantum fields and random geometries - Architecture and mechanism of the shelterin complex - How Interaction of Family Friendly Policies and Firm Decisions Affects Fertility - Synergistic catalysis for the sustainable synthesis of semiconducting polymers - 皮質脊髄路の神経回路機構解明のためのシングル核RNAシーケンシング - Response diversity: elucidating the long sought-after mechanisms underpinning ecosystem stability - Identifying tipping points and safe operating spaces in sustainable fisheries management under future climate change
特別研究員奨励費	
特別推進研究	
国際共同研究加速基金(帰国発展)	
国際共同研究強化(A)	<ul style="list-style-type: none"> - 動物のセルロース合成を可能にしたCesAタンパクの構造解析による結晶化機構の解明
国際共同研究強化(B)	<ul style="list-style-type: none"> - 先端分光計測と精密合成を活用したグラフエナノリボンの微細構造と機能の制御
研究活動スタート支援	<ul style="list-style-type: none"> - 対面会話とビデオ通話における行動と脳波の同期観察 - Quantum fields and random geometries - Architecture and mechanism of the shelterin complex - How Interaction of Family Friendly Policies and Firm Decisions Affects Fertility - Synergistic catalysis for the sustainable synthesis of semiconducting polymers - 皮質脊髄路の神経回路機構解明のためのシングル核RNAシーケンシング - Response diversity: elucidating the long sought-after mechanisms underpinning ecosystem stability - Identifying tipping points and safe operating spaces in sustainable fisheries management under future climate change
新学術領域研究(研究領域提案型)	<ul style="list-style-type: none"> - 人工知能と脳科学の融合研究の推進 - 人工知能と脳科学の融合研究の国際ネットワーク形成 - 量子液晶の物性科学 - 量子液晶の理論構築
学術変革領域研究(A)	<ul style="list-style-type: none"> - 不均一環境変動に対する植物のレジリエンスを支える多層的情報統御の分子機構

	<ul style="list-style-type: none"> - 植物の不均一環境変動への応答を支える多層的エピソード制御機構 - 先端バイオイメージング支援プラットフォーム - 機械学習への位相幾何学的アプローチ - 量子フラストレート磁性体におけるエンタングルメントウィットネス - 多様な環境に生息する固着性刺胞動物サンゴの適応責任回路の解明 - 歌学習発達に伴う聴覚記憶神経回路の高次機能適応センサス - Simultaneous voltage and calcium imaging and mRNA extraction from single neurons in-vivo
日本学術振興会調査研究費	<ul style="list-style-type: none"> - 生化学系における対称性の破れに対する熱力学的制約 - 水温とpH変化に対応したオイクプレウラ・ジオアイカRNA制御 - HIVを標的としたレンチウイルスベクターのリボスイッチによる制御 - 光合成微細藻類における細胞内共生細菌 - NP困難問題の量子アルゴリズムの開発
厚生労働科学研究費補助金 笹川科学研究助成金	<ul style="list-style-type: none"> - Integrating behavioral, cellular, and molecular substrates of camouflage in Okinawan Big Reef Squid - 新たなバイオテクノロジーを用いて得られた食品の安全性確認とリスクコミュニケーションのための研究 - シロアリが建設する構造の力学的な機能とそれをつくる行動メカニズムの解明 - Role of paraventricular thalamic neurons in risk-sensitive choice behavior
武田科学振興財団生命科学研究助成 内藤記念女性研究者研究助成金	<ul style="list-style-type: none"> - New proteins by evolution and engineering - モバイルシグナルを介した植物の生殖メカニズム - 恐怖情動に伴う体温変化を制御するメカニズムの解明
住友財団基礎科学研究助成	<ul style="list-style-type: none"> - シロアリの兵隊カーストの進化における資源競争の役割 - 有機太陽電池界面における電荷輸送とダイナミクス
岩谷直治記念財団研究助成金	<ul style="list-style-type: none"> - デハログナーゼ工学によるポリフッ化化合物の分解 - 持続可能なエネルギーの代替としての電子伝達タンパク質ワイヤーの設計
平和中島財団国際学術研究助成	<ul style="list-style-type: none"> - ジョセフソン接合を用いた量子技術: 超広帯域スピン共鳴分光
井上科学振興財団国際研究集会助成	<ul style="list-style-type: none"> - トポロジ、可積分系、そして双対性 女性による研究会
私学振興事業団学術研究振興資金	<ul style="list-style-type: none"> - スピンを用いた極低温・超低雑音マイクロ波増幅
英国生態学会助成金	<ul style="list-style-type: none"> - Applying a new framework for understanding the drivers of ecological resilience in floating aquatic plants
在日フランス大使館助成金	<ul style="list-style-type: none"> - Study the closed atoll of Taiaro

18. 関連公益法人等に関する明細

FRIENDS OF OIST, INC.

(1) 設立の目的

- ① 沖縄科学技術大学院大学及び米国、日本及び海外の共同研究者が実施する研究及び教育の活動支援を通じて、世界の課題に取り組む科学技術を促進する。
- ② 米国での沖縄科学技術大学院大学及びその研究プログラムの認知度を高め、国際的に影響を与えることにより、日本発の科学技術による研究と教育のグローバル化を推進する。
- ③ イノベーション、起業家精神、世界のニーズに対応する科学技術の知識の活用を支援する環境を促進することで、沖縄の自立的な経済成長に寄与する。

(2) 法人に対する役員の関係

当学園の元理事の一人であるジェローム・フリードマン氏は、Friends of OIST, INCの理事を務めております。

(3) 役員氏名

- ① ジェローム・フリードマン 理事
- ② マクリン・幸子 理事

(4) 基本財産の状況

法人の基本財産に対する出えん、拠出、寄附等及び法人の運営費、事業費等に充てるために沖縄科学技術大学院大学において負担した会費、負担金等はありません。

(5) 法人に対する取引の状況

該当はありません。